

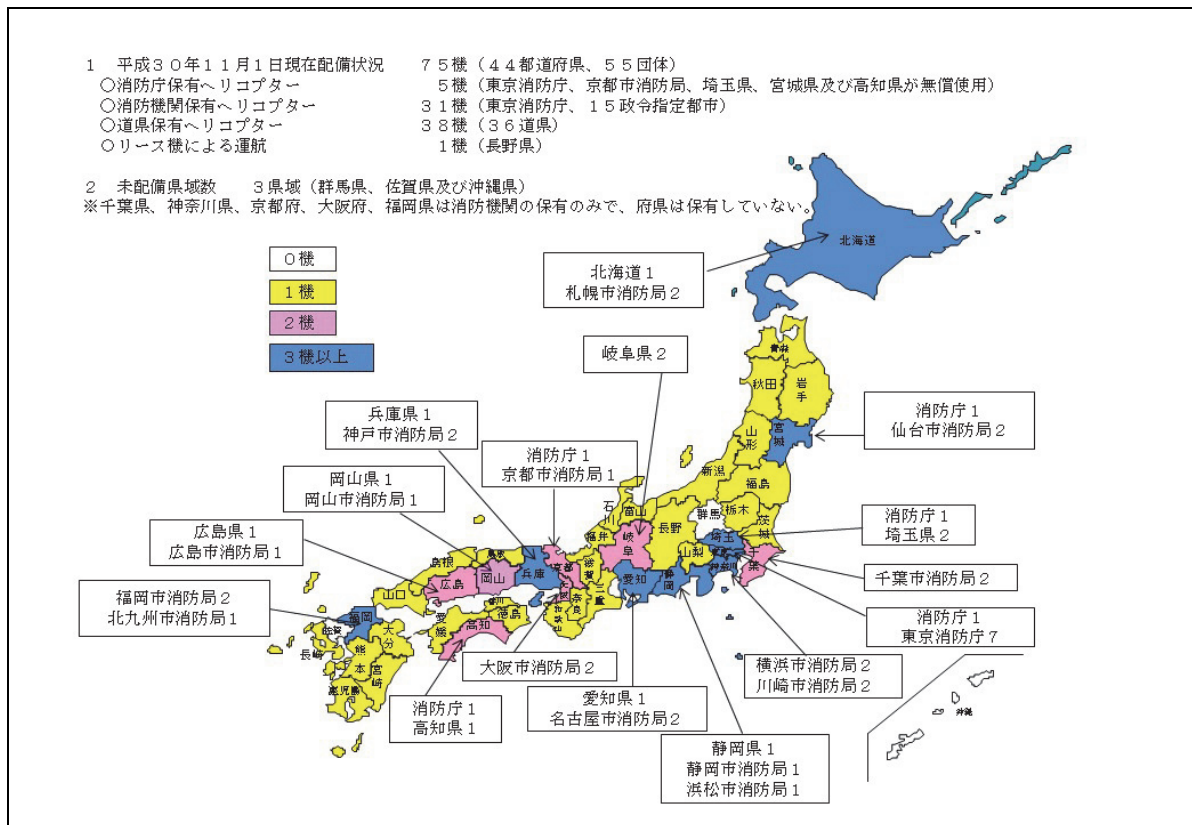
Ⅲ 航 空 編

ヘリコプターによる救急救助業務

1 消防防災ヘリコプターの配備状況

平成30年11月1日現在の消防防災ヘリコプターの配備状況は、総務省消防庁保有が5機、消防機関保有が31機、道県保有が38機、リース機による運航が1機の計75機となっており、未配備県は3県となっている。平成30年8月10日に発生した墜落事故のため、群馬県は現在ヘリコプターを保有していない（第1図、第2表参照）。

第1図 消防防災ヘリコプターの配備状況



第2表 消防防災ヘリコプター保有状況の推移

(機)

区分	年					
	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年
総務省消防庁	5	5	5	5	5	5
消防機関	30	31	31	31	31	31
都道府県	40	40	40	40	39	38
リース機による運航						1
計	75	76	76	76	75	75

(注) 各年11月1日現在の値を示す。

2 消防防災ヘリコプターの災害出動状況

平成 29 年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数は 3,370 件（対前年比 294 件減、8.0%減）、救助出動件数は 2,028 件（対前年比 145 件減、6.7%減）となっており、前年と比較して救急出動件数、救助出動件数ともに減少している。

その他に、火災出動件数は 1,110 件（対前年比 298 件増）、情報収集・輸送等出動件数は 244 件（対前年比 99 件減）となっており、すべての出動件数を合わせた合計は 6,752 件（対前年比 240 件減）となっている（第 3 表、第 4 表、第 5 図参照）。

第 3 表 平成 29 年中消防防災ヘリコプター災害出動状況

区分	災害区分												計			
	火災			救助			救急			情報収集・輸送等			管内	管外応援	合計	
	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計	管内	管外応援	合計				
消防ヘリ	1 札幌市消防局	15	1	16	22	4	26	299	7	306	7	1	8	343	13	356
	2 仙台市消防局	14	5	19	10	5	15	14	2	16	3	2	5	41	14	55
	3 千葉市消防局	39	0	39	3	2	5	24	8	32	16	0	16	82	10	92
	4 東京消防庁	47	7	54	25	0	25	422	1	423	0	0	0	494	8	502
	5 横浜市消防局	93	6	99	5	12	17	0	0	0	3	0	3	101	18	119
	6 川崎市消防局	23	4	27	22	9	31	0	0	0	3	0	3	48	13	61
	7 静岡市消防局	8	1	9	26	1	27	31	0	31	2	0	2	67	2	69
	8 浜松市消防局	26	1	27	15	6	21	87	5	92	13	0	13	141	12	153
	9 名古屋消防局	62	3	65	26	3	29	4	2	6	39	0	39	131	8	139
	10 京都市消防局	24	0	24	29	2	31	83	9	92	14	0	14	150	11	161
	11 大阪市消防局	33	0	33	27	0	27	3	1	4	2	3	5	65	4	69
	12 神戸市消防局	191	0	191	69	2	71	75	1	76	4	0	4	339	3	342
	13 岡山市消防局	28	1	29	2	6	8	14	10	24	0	0	0	44	17	61
	14 広島市消防局	34	5	39	21	9	30	13	66	79	1	7	8	69	87	156
	15 北九州市消防局	39	3	42	6	3	9	14	2	16	7	3	10	66	11	77
	16 福岡市消防局	37	0	37	29	19	48	49	19	68	12	12	24	127	50	177
小計	713	37	750	337	83	420	1,132	133	1,265	126	28	154	2,308	281	2,589	
道県ヘリ	1 北海道	15	0	15	88	0	88	84	0	84	0	0	0	187	0	187
	2 青森県	8	2	10	36	1	37	18	1	19	0	0	0	62	4	66
	3 岩手県	24	0	24	51	0	51	22	0	22	4	0	4	101	0	101
	4 宮城県	10	2	12	20	4	24	12	1	13	0	0	0	42	7	49
	5 秋田県	3	4	7	44	2	46	6	1	7	6	0	6	59	7	66
	6 山形県	5	3	8	31	1	32	19	0	19	0	0	0	55	4	59
	7 福島県	23	0	23	29	1	30	31	1	32	4	0	4	87	2	89
	8 茨城県	8	2	10	60	1	61	26	5	31	0	0	0	94	8	102
	9 栃木県	3	6	9	32	8	40	31	6	37	0	1	1	66	21	87
	10 群馬県	2	10	12	67	15	82	104	12	116	0	0	0	173	37	210
	11 埼玉県	19	11	30	38	11	49	27	12	39	2	3	5	86	37	123
	12 新潟県	1	6	7	61	4	65	21	2	23	1	0	1	84	12	96
	13 富山県	2	0	2	71	0	71	46	0	46	2	0	2	121	0	121
	14 石川県	2	0	2	27	4	31	15	1	16	0	0	0	44	5	49
	15 福井県	0	0	0	41	14	55	35	0	35	0	0	0	76	14	90
	16 山梨県	5	3	8	74	9	83	68	7	75	5	2	7	152	21	173
	17 長野県	0	0	0	10	0	10	8	0	8	0	0	0	18	0	18
	18 岐阜県	17	1	18	44	5	49	27	5	32	0	0	0	88	11	99
	19 静岡県	11	3	14	38	3	41	22	3	25	1	1	2	72	10	82
	20 愛知県	9	1	10	32	5	37	13	2	15	1	0	1	55	8	63
	21 三重県	4	0	4	39	9	48	35	10	45	0	0	0	78	19	97
	22 滋賀県	4	0	4	39	2	41	22	2	24	1	0	1	66	4	70
	23 兵庫県	27	0	27	42	2	44	71	1	72	1	1	2	141	4	145
	24 奈良県	2	0	2	44	5	49	24	5	29	0	4	4	70	14	84
	25 和歌山県	3	1	4	33	2	35	35	4	39	0	0	0	71	7	78
	26 鳥取県	5	0	5	42	6	48	59	4	63	9	1	10	115	11	126
	27 島根県	5	2	7	17	7	24	150	14	164	3	0	3	175	23	198
	28 岡山県	6	3	9	14	6	20	15	12	27	0	0	0	35	21	56
	29 広島県	20	1	21	5	3	8	31	6	37	0	0	0	56	10	66
	30 山口県	7	0	7	21	5	26	14	3	17	1	2	3	43	10	53
	31 徳島県	3	2	5	19	2	21	9	29	38	1	0	1	32	33	65
	32 香川県	5	0	5	11	6	17	107	4	111	1	1	2	124	11	135
	33 愛媛県	3	1	4	32	4	36	30	0	30	0	0	0	65	5	70
	34 高知県	7	0	7	37	2	39	144	2	146	3	5	8	191	9	200
	35 長崎県	1	0	1	16	0	16	37	0	37	3	0	3	57	0	57
	36 熊本県	6	0	6	7	5	12	312	9	321	2	1	3	327	15	342
	37 大分県	12	0	12	51	10	61	56	15	71	6	0	6	125	25	150
	38 宮崎県	5	3	8	46	6	52	89	9	98	5	4	9	145	22	167
	39 鹿児島県	0	1	1	25	4	29	33	9	42	2	0	2	60	14	74
小計	292	68	360	1,434	174	1,608	1,908	197	2,105	64	26	90	3,698	465	4,163	
合計	1,005	105	1,110	1,771	257	2,028	3,040	330	3,370	190	54	244	6,006	746	6,752	

※管外応援とは、緊急消防援助隊、広域航空消防応援、相互応援協定の出動件数。

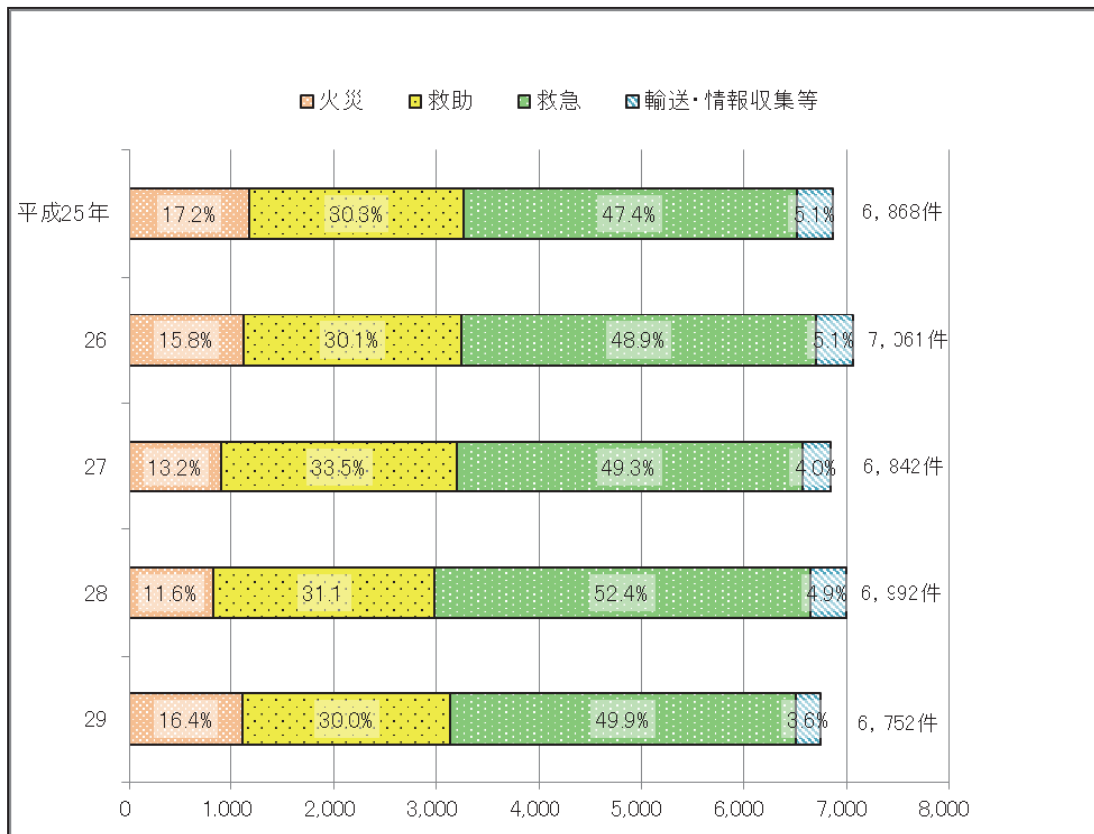
第4表 消防防災ヘリコプター災害出動状況の推移

出動件数（件） 救助・救急搬送人員（人）

区分 年・件数		火災			救助			救急			情報収集・輸送等			計		
		管内	管外応援	計	管内	管外応援	計	管内	管外応援	計	管内	管外応援	計	管内	管外応援	合計
平成25年	出動件数	1,076	102	1,178	1,895	187	2,082	2,974	282	3,256	229	123	352	6,174	694	6,868
	救助・救急搬送人員	0	1	1	1,063	193	1,256	2,300	236	2,536	167	10	177	3,530	440	3,970
平成26年	出動件数	991	128	1,119	1,910	218	2,128	3,201	255	3,456	305	53	358	6,407	654	7,061
	救助・救急搬送人員	1	0	1	1,112	161	1,273	2,494	224	2,718	44	32	76	3,651	417	4,068
平成27年	出動件数	851	55	906	2,010	280	2,290	3,035	340	3,375	249	22	271	6,145	697	6,842
	救助・救急搬送人員	1	0	1	1,213	431	1,644	2,374	508	2,882	111	14	125	3,699	953	4,652
平成28年	出動件数	768	44	812	1,918	255	2,173	3,291	373	3,664	237	106	343	6,214	778	6,992
	救助・救急搬送人員	1	0	1	1,091	246	1,337	2,449	367	2,816	73	165	238	3,614	778	4,392
平成29年	出動件数	1,005	105	1,110	1,771	257	2,028	3,040	330	3,370	180	54	244	6,006	746	6,752
	救助・救急搬送人員	0	0	0	989	248	1,237	2,271	307	2,578	38	50	88	3,298	605	3,903

※「情報収集・輸送等」欄の救助・救急搬送人員は輸送人員を示す。

第5図 消防防災ヘリコプターの出動件数の推移



※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

3 消防防災ヘリコプターによる救急活動実施状況

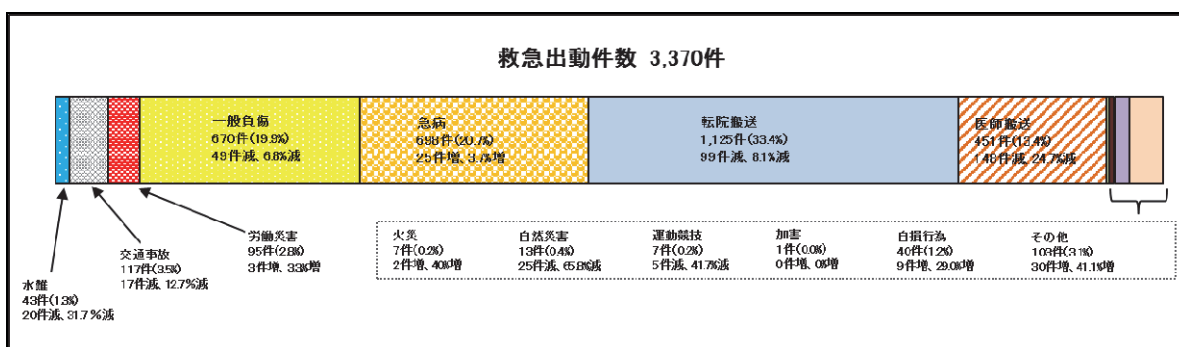
(1) 救急出動件数

平成29年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数は、「転院搬送」が1,125件（対前年比99件減、8.1%減）、「急病」が698件（対前年比25件増、3.7%増）、「一般負傷」が670件（対前年比49件減、6.8%減）、「医師搬送」が451件（対前年比148件減、24.7%減）などとなっている（第6表、第7図、第8表、第9図参照）。

第6表 消防防災ヘリコプター事故種別救急出動件数の推移

年	水難	交通事故	労働災害	一般負傷	急病	転院搬送	医師搬送	火災	自然災害	運動競技	加害	自損行為	その他	合計
平成25年中	62	166	115	675	484	1,170	457	4	10	6	3	38	66	3,256
平成26年中	49	145	124	701	556	1,202	537	6	36	7	1	42	50	3,456
平成27年中	73	145	122	690	537	1,070	502	3	91	9	1	41	91	3,375
平成28年中	63	134	92	719	673	1,224	599	5	38	12	1	31	73	3,664
平成29年中	43	117	95	670	698	1,125	451	7	13	7	1	40	103	3,370
対前年増減数	▲20	▲17	3	▲49	25	▲99	▲148	2	▲25	▲5	0	9	30	▲294

第7図 平成29年中の消防防災ヘリコプターの救急出動件数（平成29年中）



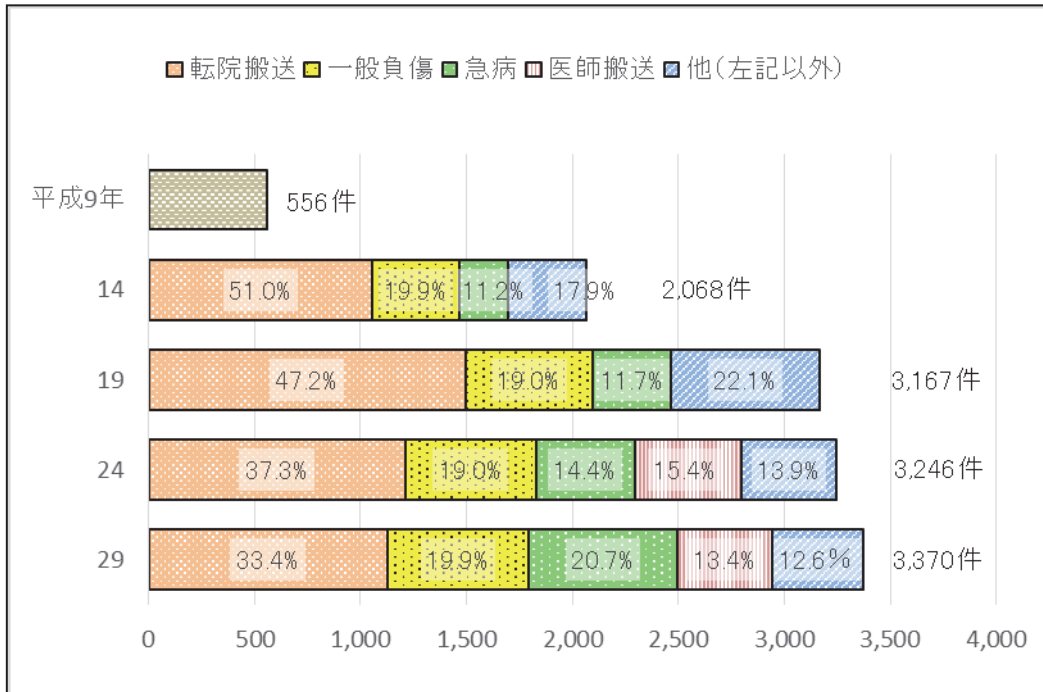
※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第8表 消防防災ヘリコプター救急出動件数と対前年比（平成29年中）

事故種別	平成29年中		平成28年中		対前年比	
	救急出動	構成比(%)	救急出動	構成比(%)	増減数	増減率(%)
水難	43	1.3	63	1.7	▲20	▲31.7
交通事故	117	3.5	134	3.7	▲17	▲12.7
労働災害	95	2.8	92	2.5	3	3.3
一般負傷	670	19.9	719	19.6	▲49	▲6.8
急病	698	20.7	673	18.4	25	3.7
転院搬送	1,125	33.4	1,224	33.4	▲99	▲8.1
医師搬送	451	13.4	599	16.3	▲148	▲24.7
火災	7	0.2	5	0.1	2	40.0
自然災害	13	0.4	38	1.0	▲25	▲65.8
運動競技	7	0.2	12	0.3	▲5	▲41.7
加害	1	0.0	1	0.0	0	0
自損行為	40	1.2	31	0.8	9	29.0
その他の救急	103	3.1	73	2.0	30	41.1
合計	3,370	100	3,664	100	▲294	▲8.0

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第9図 消防防災ヘリコプター事故種別の救急出動件数と構成比の5年ごとの推移



※平成9年は出動種別不明のため件数のみ

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

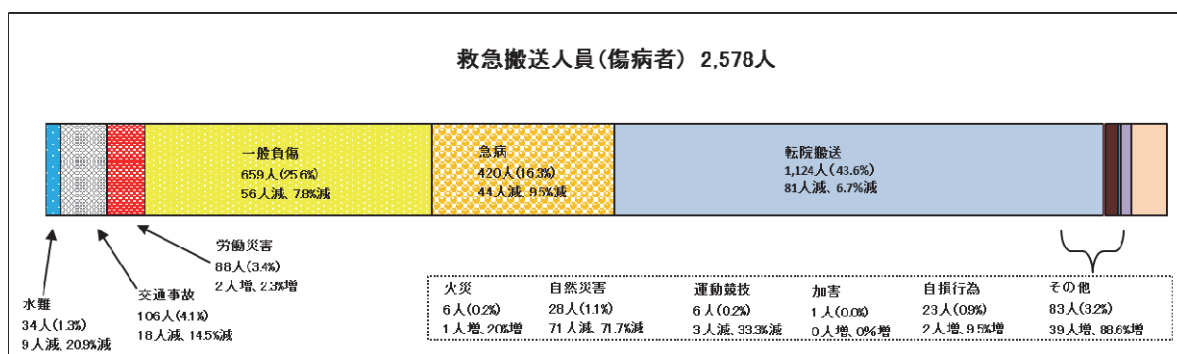
(2) 救急搬送人員数

平成29年中の消防防災ヘリコプターの救急搬送人員数は、「転院搬送」が1,124人（対前年比81人減、6.7%減）、「急病」が420人（対前年比44人減、9.5%減）、「一般負傷」が659人（対前年比56人減、7.8%減）などとなっている（第10表、第11図、第12表、第13図参照）。

第10表 消防防災ヘリコプター事故種別救急搬送人員の推移

年	水難	交通事故	労働災害	一般負傷	急病	転院搬送	火災	自然災害	運動競技	加害	自損行為	その他	合計
平成25年中	40	153	103	655	369	1,131	3	14	6	2	21	39	2,536
平成26年中	32	127	115	702	401	1,197	6	60	8	1	30	39	2,718
平成27年中	83	131	121	694	389	1,052	1	315	9	0	25	62	2,882
平成28年中	43	124	86	715	464	1,205	5	99	9	1	21	44	2,816
平成29年中	34	106	88	659	420	1,124	6	28	6	1	23	83	2,578
対前年増減数	▲9	▲18	2	▲56	▲44	▲81	1	▲71	▲3	0	2	39	▲238

第11図 平成29年中の消防防災ヘリコプターの救急搬送人員数（平成29年中）



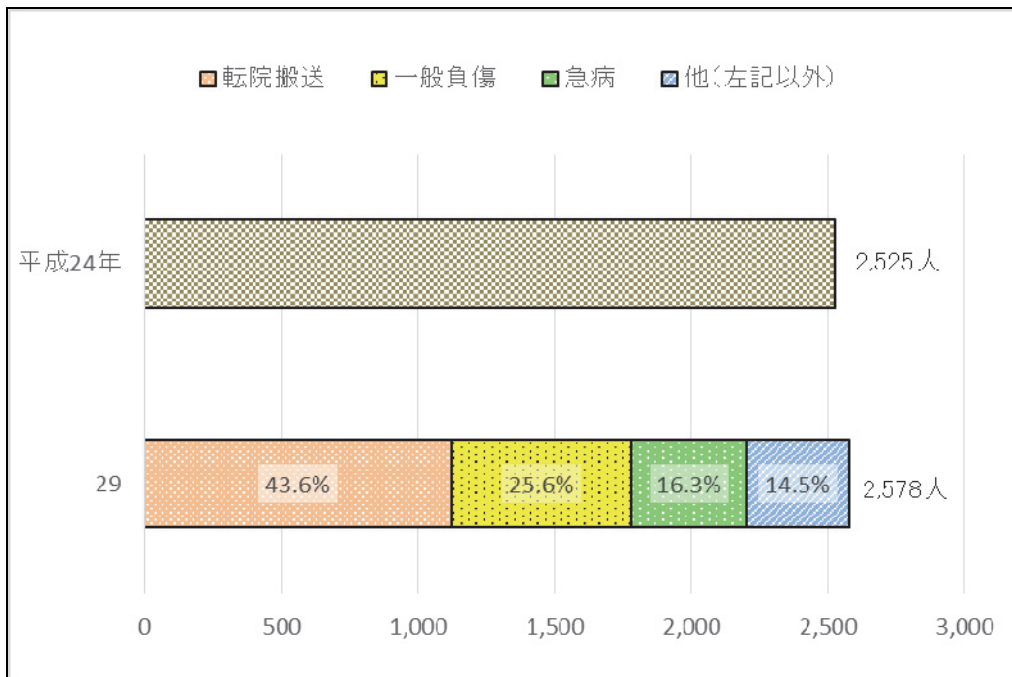
※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第12表 消防防災ヘリコプター救急搬送人員数と対前年比（平成29年中）

事故種別	平成29年中		平成28年中		対前年比	
	搬送人員	構成比(%)	搬送人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
水難	34	1.3	43	1.5	▲9	▲20.9
交通事故	106	4.1	124	4.4	▲18	▲14.5
労働災害	88	3.4	86	3.1	2	2.3
一般負傷	659	25.6	715	25.4	▲56	▲7.8
急病	420	16.3	464	16.5	▲44	▲9.5
転院搬送	1,124	43.6	1,205	42.8	▲81	▲6.7
火災	6	0.2	5	0.2	1	20.0
自然災害	28	1.1	99	3.5	▲71	▲71.7
運動競技	6	0.2	9	0.3	▲3	▲33.3
加害	1	0.0	1	0.0	0	0
自損行為	23	0.9	21	0.7	2	9.5
その他の救急	83	3.2	44	1.6	39	88.6
合計	2,578	100	2,816	100	▲238	▲8.5

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第13図 消防防災ヘリコプター事故種別の救急搬送人員と構成比の5年ごとの推移



※平成9年、14年、19年は件数不明

※平成24年は総件数のみ

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

4 消防防災ヘリコプターの救助活動実施状況

(1) 救助出動件数

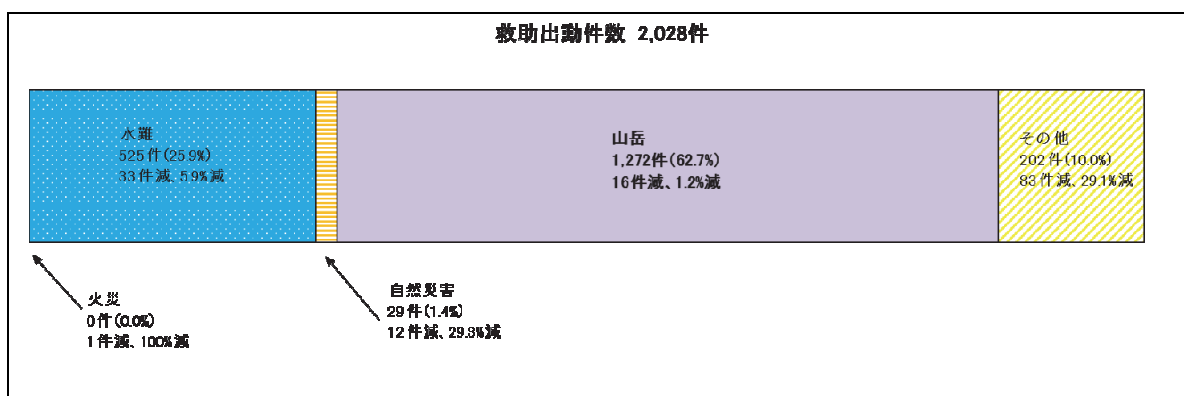
平成29年中の消防防災ヘリコプターの救助出動件数は、「山岳」が1,272件（対前年比16件減、1.2%減）、「水難」が525件（対前年比33件減、5.9%減）、「自然災害」が29件（対前年比12件減、29.3%減）、「火災」が0件（対前年比1件減、100%減）、「その他」が202件（対前年比83件減、29.1%減）となっている（第14表、第15図参照）。

事故種別ごとの推移をみると、「山岳」が他の事故種別に比べ増加傾向にある（第16表、第17図参照）。

第14表 消防防災ヘリコプター事故種別救助出動件数及び救助人員の推移

事故種別 年	件数（件） 人員（人）											
	火災		水難		自然災害		山岳		その他		合計	
	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
平成25年中	0	0	562	95	26	104	1,258	962	236	95	2,082	1,256
平成26年中	3	1	584	82	67	107	1,265	975	209	108	2,128	1,273
平成27年中	0	0	607	121	113	342	1,345	1,085	225	96	2,290	1,644
平成28年中	1	1	558	94	41	108	1,288	1,022	285	112	2,173	1,337
平成29年中	0	0	525	80	29	73	1,272	1,002	202	82	2,028	1,237
対前年増減数	▲1	▲1	▲33	▲14	▲12	▲35	▲16	▲20	▲83	▲30	▲145	▲100

第15図 平成29年中の消防防災ヘリコプターの救助出動件数（平成29年中）

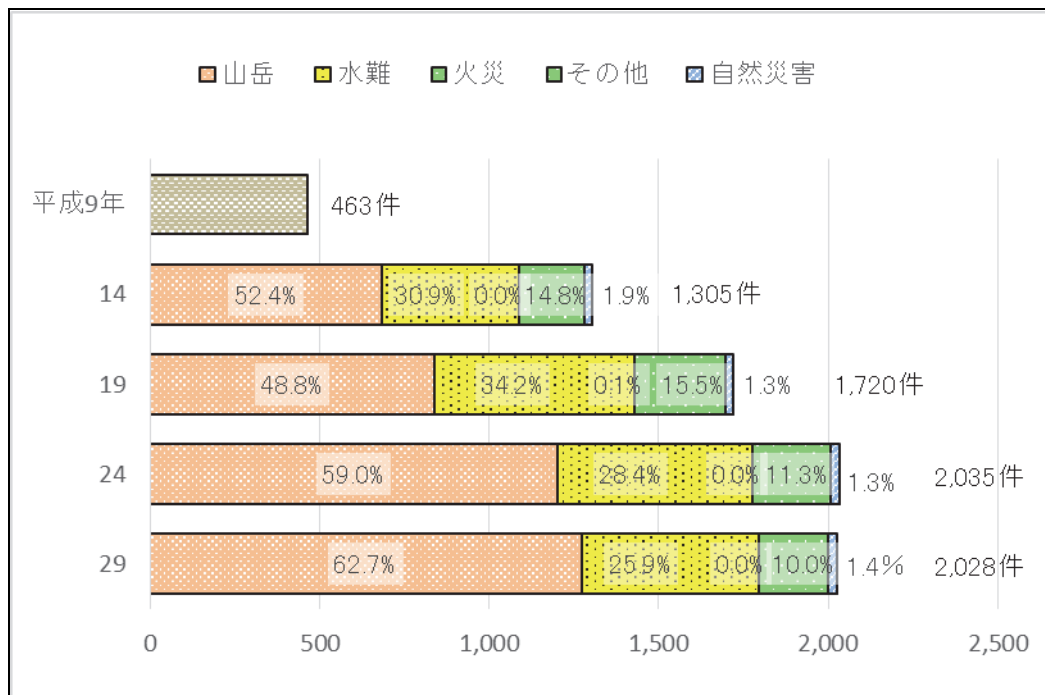


※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第16表 消防防災ヘリコプター事故種別の救助出動件数と対前年比（平成29年中）

事故種別	平成29年中		平成28年中		対前年比	
	救助出動件数	構成比 (%)	救助出動件数	構成比 (%)	増減数	増減率 (%)
火災	0	0.0	1	0.0	▲1	▲100.0
水難	525	25.9	558	25.7	▲33	▲5.9
自然災害	29	1.4	41	1.9	▲12	▲29.3
山岳	1,272	62.7	1,288	59.3	▲16	▲1.2
その他	202	10	285	13.1	▲83	▲29.1
合計	2,028	100	2,173	100	▲145	▲6.7

第 17 図 消防防災ヘリコプター事故種別の救助出動件数と構成比の 5 年ごとの推移



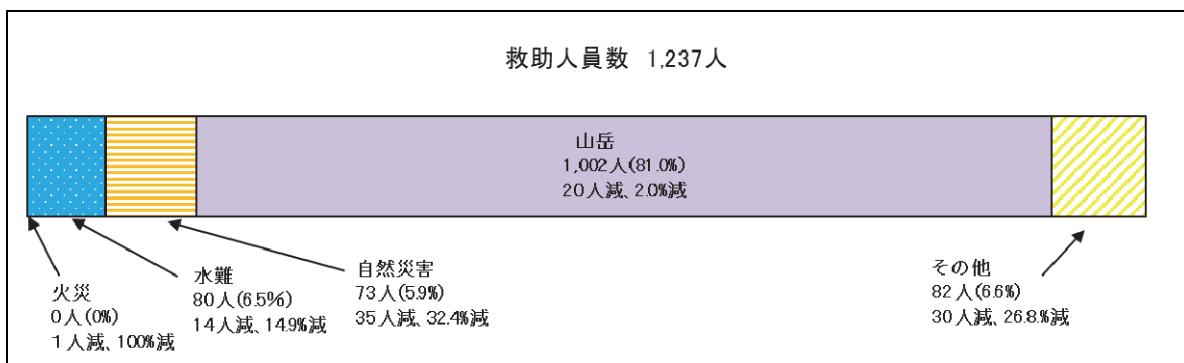
※平成9年の出動種別の内訳は不明のため総件数のみ

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

(2) 救助人員数

平成29年中の消防防災ヘリコプターの救助人員数は、「山岳」が1,002人（対前年比20人減、2.0%減）、「水難」が80人（対前年比14人減、14.9%減）、「自然災害」が73人（対前年比35人減、32.4%減）、「火災」が0人（対前年比1人減、100%減）、「その他」が82人（対前年比30人減、26.8%減）となっている（第18図、第19表、第20図参照）。

第 18 図 平成 29 年中の消防防災ヘリコプターの救助人員数（平成 29 年中）



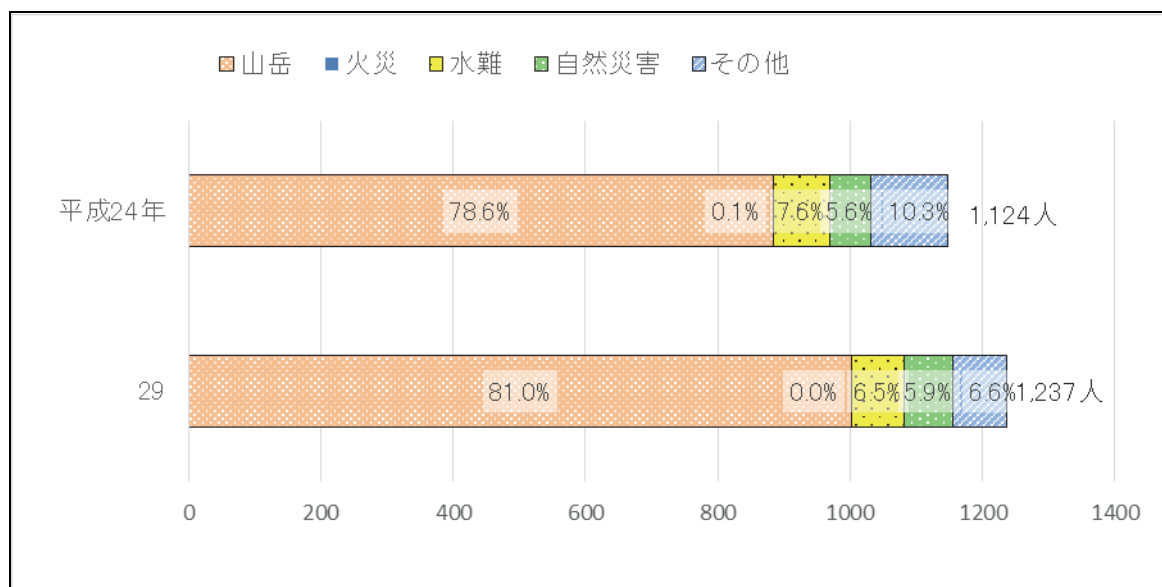
※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は100%にならない場合がある。

第 19 表 消防防災ヘリコプター救助人員数と対前年比（平成 29 年中）

事故種別	平成29年中		平成28年中		対前年比	
	救助人員	構成比(%)	救助人員	構成比(%)	増減数	増減率(%)
火災	0	0.0	1	0.1	▲1	▲100.0
水難	80	6.5	94	7.0	▲14	▲14.9
自然災害	73	5.9	108	8.1	▲35	▲32.4
山岳	1,002	81.0	1,022	76.4	▲20	▲2.0
その他	32	6.6	112	8.4	▲30	▲26.8
合計	1,237	100	1,357	100	▲100	▲7.5

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合がある。

第 20 図 消防防災ヘリコプター事故種別の救助人員と構成比の 5 年ごとの推移



※平成 9 年、14 年、19 年の種別ごとの救助人員は不明

※割合の算出に当たっては、端数処理（四捨五入）のため、割合の合計は 100%にならない場合がある。

5 緊急消防援助隊航空小隊の出動件数及び救助・救急搬送人員数

平成29年中の緊急消防援助隊航空小隊の出動は、平成29年7月九州北部豪雨のみによるもので、出動件数は44件（対前年比108件減、71.1%減）、救助・救急搬送人員数は91人（対前年比233人減、71.9%減）となっている（第21表参照）。

第21表 緊急消防援助隊航空小隊の出動件数及び救助・救急搬送人員の推移
(平成25年～29年)

(件/人)

年・災害名		区分	緊急消防援助隊 航空小隊出動件数	緊急消防援助隊航空小隊 による救助・救急搬送人員
平成25年	台風第26号による伊豆大島災害		109	0
平成26年	広島市土砂災害		14	17
	御嶽山噴火災害		18	10
	長野県北部地震		6	1
	計		38	28
平成27年	口永良部島噴火災害		5	0
	平成27年9月関東・東北豪雨		148	544
	計		153	544
平成28年	平成28年熊本地震		77	121
	平成28年台風第10号による災害		75	203
	計		152	324
平成29年	平成29年7月九州北部豪雨		44	91

※上表の航空小隊の出動件数については、平成25年までは1日1件として計上していたが、平成26年中に再精査を行い、以降、緊急消防援助隊として出動した活動種別ごとの件数に改めた。